



介護あんしん 相談員だより

第27号 平成29年3月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員はご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見えて気づいたりした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者さんや介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(平成28年12月・平成29年1月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：初めて喫茶店の開店の日に訪問して、利用者様がお部屋にいる時との表情の違いを見ることができて良かったと思いました。

施設：喫茶店は毎月第2、第4水曜日、10時から11時まで開店しています。ボランティア2～3名でカラオケバックミュージック付きです。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの施設はボランティアの方で、喫茶店を開催されているのですね。利用者様の生の声を紹介させていただきます。

A氏：「初めてこの喫茶店にきたよ。久しぶりにコーヒーを飲んだよ。今まで毎朝息子がコーヒーを入れてくれていたから懐かしかった。この施設に来て飲んでいなかったから、コーヒーが飲めて嬉しいね。」

B氏：「昔、喫茶店でコーヒーを飲んでいたよ。デートしたことを思い出すね。」

この喫茶店は利用者様同士とボランティアの方との交流の場にもなっているそうです。喫茶店での飲み物はコーヒー、紅茶、緑茶から1つをえらべます。お菓子付きで、ボランティアさんが一人ひとり注文を聞いて運んでくれます。カラオケも流れていて、それぞれみなさんが歌いながら、楽しいひとときを過ごされているようです。

すてきな取組みなので、今後も継続していただきたいと思いました。利用者様の中には、喜んでお手伝いをして頂ける方もいらっしゃるかもしれませんね。

相談員：レクリエーションの施設内初詣と書いてありますが、どのようなことをされたのですか？

施設：一年最初のレクリエーションで、施設内初詣を行っています。職員・ご利用者様全員参加で開催しています。



【鳥栖地区広域市町村圏組合より】

こちらの施設では、介護度の重度化により、ほとんどの利用者様が施設外に参拝等に行くことが出来ないで、施設内でいかに初詣の雰囲気や季節感等を感じていただけるのかと考え、毎年若干アレンジを加えながら取組みをされているそうです。

お賽銭やおみくじ（大大大吉、もう少しで大吉など）、手作りの神社や職員による宮司や巫女さんなどもユーモアたっぷりで、参加出来なかった利用者の部屋にも出張お祓いをされ、皆さんで楽しまれたそうです。

利用者様は、季節ごとの行事や催し物などの時に、ふと昔を思いだし、懐かしくもあり、また寂しくなることもあると思います。

そのような時に、施設のスタッフさんの明るさや他の利用者様と触れ合うことにより、みんなを笑顔に変える力になったのではないのでしょうか。

利用者様も笑顔だと、スタッフも笑顔になり、スタッフも笑顔だと利用者様も笑顔になりますね。今後ともよろしく願いいたします。



～利用者さんの声より～

利用者：楽しみは、自分で作らんと。

施設：誰にでも気さくに話しかけられ、とても明るい方です。前向きな発言で嬉しく思います。



【鳥栖地区広域市町村圏組合より】

こちらの利用者様は、月に2～3回自宅に戻って地域の方々と交流をされています。楽しみは自分で作らないと・・・と明るく、こちらのご利用者様がいらっしゃることで、フロア全体が明るくなっているそうです。

やはり、こちらの利用者様のお言葉のとおり、他の利用者様も、それぞれ自分で楽しみを見つけられ、ある利用者様は散歩に行かれた後、自室で編み物をされ残り毛糸で座布団を作成し、またある利用者様には、スタッフ皆で興味のあることをさがした結果、趣味のあった将棋の対戦中でした。帰宅願望のあった利用者様も施設で楽しみを見つけられ、居場所として自分の時間を楽しまれているそうです。



わたしたち、介護あんしん相談員は一人一人の小さな思いを、お伝えします。